

2/2、市旗

た。日本共産党的鈴木正樹市議が「貧困・格差の問題は今や市民全体の問題となっているが、社会保障制度には大きな穴があいている」「みんなでつながり、貧困を乗り越えるとき」と訴えました。医療現場からは、生活困窮で医療費が払えなかつた一人親家庭や、失業で家賃滞納し退去を迫られた高齢者が、無料低額診療と生活保護受給で助かった実例などが報告されました。

無料塾や反貧困ネットワークの取り組みの発言もありました。

代表委員には、天津亨・光陽生協病院副院長、佐々木紀明・県民医連事務局長、村井弘子・新日本婦人の会福井支部長が、事務局長に鈴木市議が選出されました。

福井市社保協を結成

福井市社会保障推進協議会が2月25日に市内で結成総会を開き、内定しました。深刻さを増す格差・貧困に対し、社会保障制度充実の運動を広げる活動方針と役員を決めました。